

令和２年度 前期 学校評価報告

令和２年１０月

京都市立高野中学校 校長 森本 晃敏

前期学校評価アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。以下に、生徒と保護者の集計結果を掲載いたします。各アンケート項目では、実現度を「よく出来ている（７点）」「大体できている（５点）」「あまり出来ていない（３点）」「出来ていない（１点）」「わからない（０点）」から選択していただきました。また、今回の集計結果による実現度を昨年度の前期と比較しました。

昨年度前期との比較では、生徒と保護者のどちらの集計結果でも「８．キャリア教育の充実」の数値が顕著に低くなりました。これは、コロナ禍のため、今年度のファイナンスパーク学習・生き方探究チャレンジ体験が実施できなかったことが原因だと考えられます。「７．グループ学習の活用と言語活動の充実」では、数値に表れていませんが、密にならないように、各教科で、グループ学習（実習や観察・実験を含む）や図書館を利用した授業が減ったために、生徒の学び方にも影響がありました。少しずつ工夫をしながら、学習効果のある有効な方法を取り入れていきたいと思います。

保護者の集計結果は、学習面で数値が低くなりました。これは、休校で授業がなかったために、授業の進度や学習内容の定着に不安があることが影響していると考えられます。７限授業日や補習日の設定で、授業の進度についてはほぼ回復することができました。学習内容の定着についても、継続して取り組んでいるところであります。

今回の学校評価アンケート結果を、今後の学校改善に活かしていきたいと思いますので、ご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

生徒と保護者の実現度（前年度前期との比較）

質問	生徒		保護者	
	R1 前期	R2 前期	O1 前期	R2 前期
１．規律ある生活習慣とルールを守る態度の育成（時間を守る・身だしなみなど）	4.9	5.0	4.6	4.8
２．進んであいさつすること	5.2	5.1	4.8	5.0
３．学習の基本となる姿勢や習慣づくり	4.7	4.7	4.2	4.6
４．家庭学習の充実	4.4	4.3	4.0	4.2
５．基礎の定着を図る補充学習（ベーシック学習と学習会、土曜自習教室など）	4.9	4.2	3.9	3.9
６．学習確認プログラムの活用（予習シートと復習シートの活用など）	5.1	4.3	3.8	3.8
７．グループ学習（学び合い）の活用と言語活動（伝え合い）の充実	5.2	5.1	3.5	3.5
８．キャリア教育の充実（ファイナンスパーク学習、チャレンジ体験、進路学習など）	5.0	3.7	4.0	3.3
９．学習・情報センターとしての図書室活用	4.5	3.3	3.0	2.8
１０．支え合い、高め合える集団づくり（学級、生徒会、部活動）	5.1	5.2	4.5	4.9
１１．人権を尊重し、社会にある課題を見抜き、解決する態度の育成	5.0	4.4	3.9	4.2
１２．道徳の時間を中心に豊かな心を育み、実践する態度の育成	5.1	4.7	3.8	4.0
１３．学校だより、学年だより、学級通信やホームページでの学校の様子発信	4.9	4.2	5.2	5.3
１４．学校運営協議会を活用し、学校と地域が一体となった学校づくり	4.5	3.6	4.0	4.5
１５．学校評価システムを活用した、より良い学校づくり	4.5	4.2	3.8	4.3